Artwork: Katsuhiko Hibino

熊本市第8次総合計画
令和8年度アクションプラン

1. 重点事項
2. 各ビジョンにおける主な取組

感じる計画! PLAN TO FEEL!

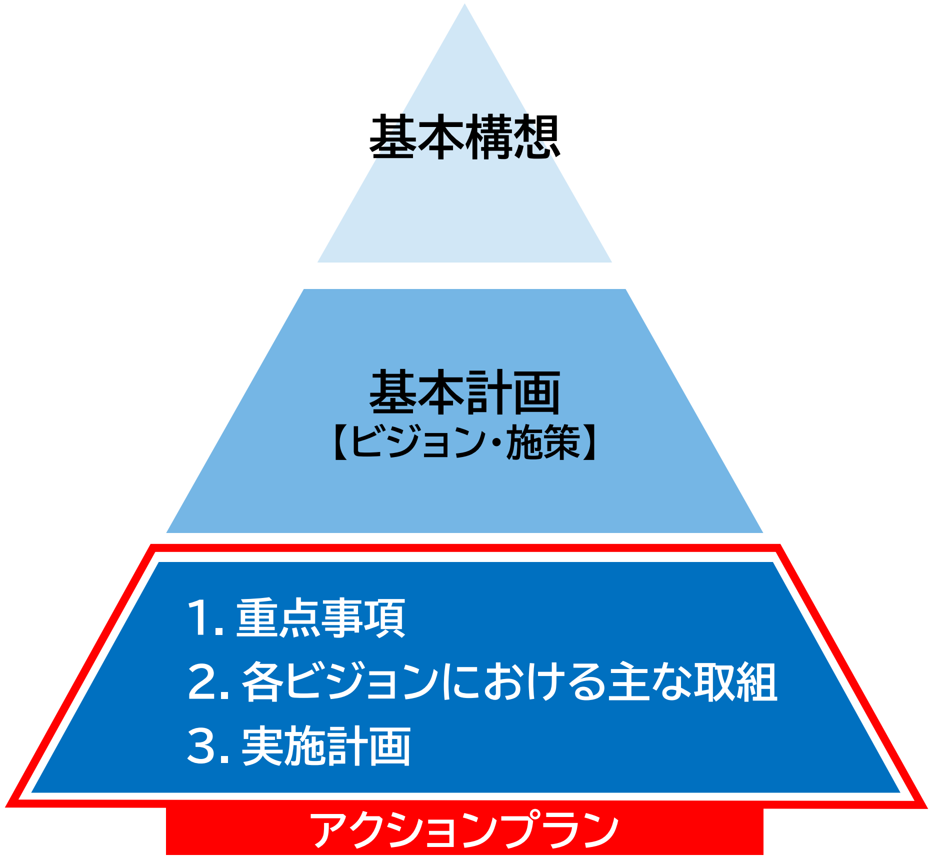
令和8年(2026年) 5月

アクションプランについて

- ✓ アクションプランは、総合計画を構成するもの（基本構想、基本計画、アクションプラン）であり、当該年度の重点事項や基本計画に掲げた施策の具体的な事業、検証指標などをとりまとめたものです。

- ✓ 国の動きや社会経済情勢、市民ニーズ、行政評価の結果等を踏まえ、予算編成とも整合を図りながら、毎年度策定・公表することとしています。

- ✓ なお、「1. 重点事項」及び「2. 各ビジョンにおける主な取組」をとりまとめた本冊と、個別事業をとりまとめた「3. 実施計画」とは、別に作成します。

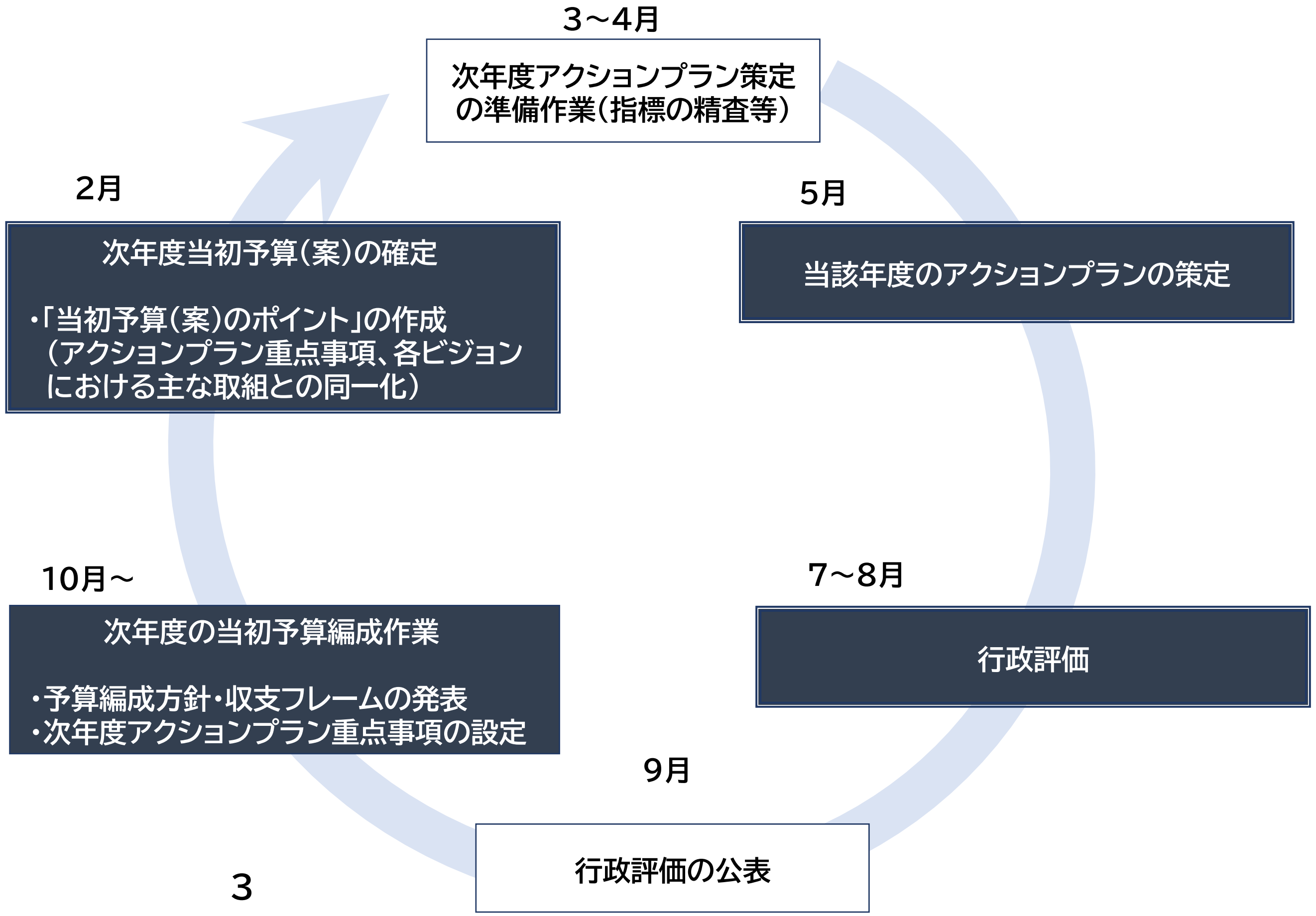


第8次総合計画の着実な推進に向けたマネジメント（PDCA）サイクル

1. 年間を通して、第8次総合計画の「8つのビジョン」（P）について、事業の進捗状況（D）や行政評価の結果を踏まえた課題の把握・分析（C）を行い、必要な施策展開のための調整や協議、企画立案（A）を行います。（PDCAサイクルの推進）
2. 特に、マニフェストの進捗管理や社会経済情勢の変化等を踏まえた新規拡充施策について、次年度予算で対応が必要なものは予算編成前に十分な検討を行うとともに、必要に応じて補正予算での対応を行います。
3. 庁内においても緊密な連携のもと、課題の共有と調整を図っていきます。

【年間のマネジメント（PDCA）サイクル】

<u>行政評価、当該年度の事業やマニフェストの進捗管理、更には国の動向や社会経済情勢の変化等を踏まえ、次年度の施策展開へ繋げるマネジメントサイクルを構築します。</u>



本市を取り巻く状況

令和8年度は、平成28年熊本地震から10年の節目の年です。
甚大な被害をもたらしたこの災害から、私たちは多くの教訓を得るとともに、復旧・復興の過程を通じ、地域のつながりや防災意識を高めてきました。

しかしながら、近年、全国的に自然災害が激甚化・頻発化しており、本市においても、令和7年8月豪雨により、深刻な被害を受けました。
また、南海トラフ地震への備えも急務であり、熊本地震から10年という節目を迎える今こそ、あの時の教訓を次世代へと確実に伝え、市民の命と暮らしを守る、「災害に強いまちづくり」をより一層推進していく必要があります。

また、全国的に人口減少・少子化が進行している中、本市においても次世代を担うこども・若者が希望を抱けるまちを実現するため、こども施策を総合的に推進していく必要があります。
さらに、半導体関連企業の熊本進出の影響もあり、市内総生産が過去最高を記録するなど地域経済が活性化しています。一方で、交通渋滞の解消や住宅・教育環境をはじめとした社会・生活環境の整備が喫緊の課題となっています。

目次

1.	重点事項	6
2.	各ビジョンにおける主な取組	17
	ビジョン1：こどもが輝き、若者が希望を抱くまち	20
	ビジョン2：市民に愛され、世界に選ばれる、持続的な発展を実現するまち	24
	ビジョン3：市民生活を守る強くしなやかなまち	28
	ビジョン4：だれもが自分らしくいきいきと生活できるまち	31
	ビジョン5：豊かな環境を未来につなぐまち	33
	ビジョン6：すべての市民がより良い暮らしを営むまち	35
	ビジョン7：安全で良好な都市基盤が整備されたまち	37
	ビジョン8：市民に信頼される市役所	40
	区における自主自立のまちづくり	42

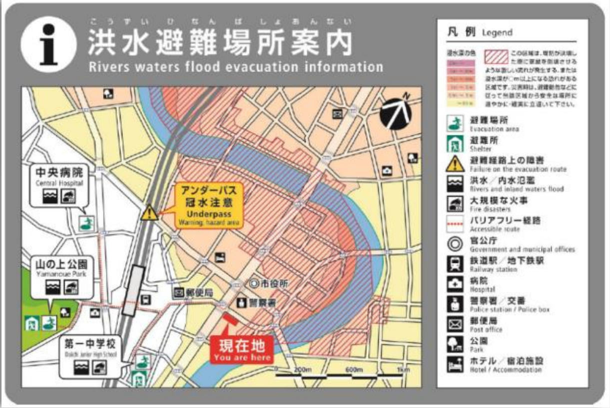
1. 重点事項

国の動きや本市を取り巻く状況等を踏まえ、以下4項目については、スピード感を持って集中的に取り組む必要があることから令和8年度の重点事項として設定します。

重点事項1　災害への備えと対応力の強化　45事業　13.4億円

地震や豪雨災害などあらゆる災害へ平時から万全の備えを行います！

【主な取組】
- 災害対策本部の情報収集力･情報共有力強化
- 避難所となる体育館の空調整備や排水機場の機能強化　等



住民参加型の訓練を実施するなど、防災意識の向上を図ります！

【主な取組】
- 熊本市特別防災訓練の実施による防災意識の向上
- 内水ハザードマップの作成及び配布による適切な避難行動促進　等

重点事項2　総合的なこども施策の推進　160事業　725億円

“こどもが輝き、若者が希望を抱くまち”を実現します！

【主な取組】
- 子育て応援アプリを活用した子育て世帯の負担軽減支援
- 結婚支援拡充や不妊治療における先進医療費の助成　等

すべてのこどもが健やかに成長できる環境づくりに取り組みます！

【主な取組】
- こども誰でも通園制度の拡充など子育て支援の充実
- こどもの性被害防止の取組　等

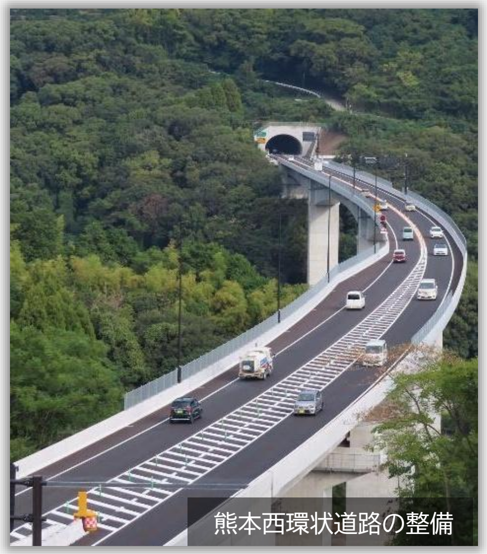
重点事項3 交通渋滞の解消及び公共交通施策の加速化　16事業　132億円

道路整備の促進など渋滞緩和の取組を加速化させます！

【主な取組】
- 熊本西環状道路の整備や10分・20分構想調査検討
- 半導体関連企業の集積に伴う交通対策の実施　等

公共交通の諸課題に取り組み、マイカーから公共交通への利用転換を図ります！

【主な取組】
- 南熊本駅周辺の拠点性向上の検討や産業道路の交差点改良事業
- 公共交通の新たなマネジメント組織（熊本交通機構）の設立検討やコミュニティ交通の拡充　等


熊本西環状道路の整備

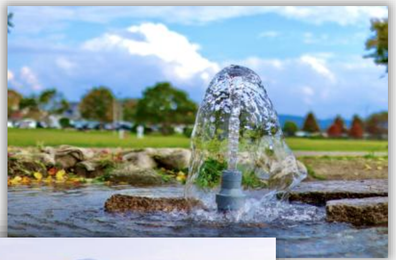
重点事項4 半導体関連企業の熊本進出に伴う諸課題への対応　33事業　12.6億円

半導体関連企業の誘致を促進するとともに、地下水を将来にわたって守ります！

【主な取組】
- 台湾における企業誘致活動や地場企業の販路拡大支援
- 地下水かん養の推進や水質保全対策の強化　等

本市在住外国人の増加に対応し、受入環境を整備します！

【主な取組】
- 地域における日本語教室の開催や学校における日本語指導の充実
- 海外との交流促進や自治会加入リーフレットの多言語化　等



水田湛水

地域日本語教室

半導体関連産業展示会への出展支援

重点事項1 災害への備えと対応力の強化関連予算の全体像

45事業 13.4億円

（単位：千円）

No	局名	課名	事業名	事業概要	予算額
Ⅰ 洪水や都市型水害による被害の防止・軽減					（小計：120,000）
1	都市建設局	都市安全課	■ 災害リスクの高いエリアからの居住誘導促進事業	土砂災害特別警戒区域から居住誘導区域への移転促進補助に要する経費	10,000
2	都市建設局	土木総務課	■ 止水板設置助成	浸水被害防止のための止水板購入・設置費用の助成に要する経費	10,000
3	都市建設局	土木総務課	■ 施設維持管理経費	排水機場の施設台帳の作成や、氾濫防止のための外水位感知システム導入に要する経費	100,000
Ⅱ 自助、共助及び公助による地域防災力の更なる向上					（小計：243,520）
4	政策局	危機管理課	■ 地域防災力の更なる向上に要する経費	地域防災力の更なる向上に要する経費	241,520
5	総務局	情報政策課	■ 情報化推進経費	デジタル活用に不安のある高齢者等の災害への備えとして、スマホ相談会を実施するために要する経費	2,000
Ⅲ 災害対応体制の構築					（小計：726,426）
6	政策局	危機管理課	■ 防災訓練経費	住民参加型の水防訓練に要する経費	1,030
7	政策局	危機管理課	■ 災害対策本部経費	災害対策本部の機能強化に要する経費	131,000
8	政策局	危機管理課	■ 災害対応体制の構築に要する経費	災害対応体制の構築に要する経費	273,660
9	総務局	総務課	■ 公文書等デジタル化推進経費	熊本市公文書館システム構築・導入及び歴史資料等のデジタル化に要する経費	120,000
10	健康福祉局	健康福祉政策課	■ 災害義援金関係経費	義援金の配分等に要する経費	153
11	健康福祉局	健康福祉政策課	■ 河内まちづくりセンター芳野分室備蓄倉庫更新経費	備蓄倉庫の更新に要する経費	11,600
12	健康福祉局	健康福祉政策課	■ すまい再建助成事業（令和7年8月豪雨）	令和7年8月豪雨で被害を受けた世帯に対してのすまい再建に要する経費	13,400
13	健康福祉局	医療対策課	■ 災害医療体制整備事業	災害医療対応の整備に要する経費	2,600
14	農水局	農業政策課	■ 夢と活力ある農業推進事業	防油堤整備等の補助に要する経費	9,700
15	消防局	管理課	■ 機械器具整備経費	消防活動に必要な機械器具の更新・導入に要する経費	20,867
16	消防局	管理課	■ 消防行政推進対策事業	消防隊員の熱中症対策及び大型免許取得助成に要する経費	8,473
17	消防局	管理課	■ 消防団機能強化事業	消防団員への出動報酬の処遇改善に要する経費	4,080
18	消防局	管理課	■ 消防行政DX推進事業	AI搭載救急訓練人形購入及びマイナ救急事業に要する経費	2,663
19	教育委員会	学校施設課	■ 体育館等空調設備整備	学校体育館等への空調設備設置に要する経費	121,900
20	教育委員会	学務支援課	■ 放送設備購入経費	学校における放送設備の更新に要する経費	5,300
Ⅳ 平成28年熊本地震 10年関連事業（25事業） ⇒次のページを参照					（小計：245,547）
Ⅰ～Ⅳ 合計					1,335,493

重点事項1 平成28年熊本地震 10年関連事業

25事業2.5億円

平成28年熊本地震から10年の節目を迎えるにあたり、様々な人の「想い」や「記憶」をつなぎ、熊本地震の「教訓」、多くの支援への「感謝」を胸に、地域の「つながり」、「絆」を力として、安全・安心で災害に強くしなやかなまちを目指し、「未来」に向けてこれからも進み続ける「決意」を新たにするため、以下の全体コンセプトと4つの基本方針に基づき、関連事業を展開します。

全体コンセプト:「支えられた日々を、支え合う力に。」

犠牲になられた方々への追悼と想いの継承 (7,000千円)

- 犠牲となられた方々に哀悼の意を表することに加え、災害の記憶の風化を防ぎ、熊本県全体で防災への思いを新たにするため、県と県内市町村との共催により、合同追悼式を開催します。

復旧・復興の歩みの振り返り (18,944千円)

- 熊本市現代美術館や動植物園、熊本競輪場において、熊本地震の当時や復旧・復興の歩みを振り返る企画・イベント等を開催します。

未来への教訓等の伝承 (71,953千円)

- 九州市長会防災部会等と連携した訓練やTKB48※避難所訓練などを実施します。
- 各区において、防災イベント等を実施し、地域防災力の向上を図ります。

※災害時の避難所において、「T=トイレ、K=キッチン、B=ベッド」の3要素を発災から48時間以内に整備することを目指す避難所運営の指針

支援への感謝と恩返し (147,650千円)

- 復興コンサートの開催や熊本城及びその周辺地域による年間を通じたイベントを開催し、様々なご支援への感謝を伝えるとともに、防災意識の醸成を図ります。

※写真はイメージ

重点事項1 平成28年熊本地震　地震10年関連事業一覧

25事業 2.5億円

令和8年度当初予算に計上している熊本地震10年関連事業

（単位：千円）

局名	課名	No.	事業名	予算額
(1)犠牲になられた方々への追悼と想いの継承				7,000
政策局	秘書課	1	熊本地震犠牲者追悼式開催経費	7,000
(2)復旧・復興の歩みの振り返り				18,944
文化市民局	文化政策課	2	熊本地震10年関連展覧会開催等経費	9,000
経済観光局	動植物園	3	集客対策経費(熊本地震10年シンポジウム)	2,944
	競輪事務所	4	(特)通常競輪施行費(熊本競輪場防災体験イベント)	5,000
上下水道局	総務課	5	熊本地震10年関連広報経費	2,000

局名	課名	No.	事業名	予算額
(3)未来への教訓等の伝承				71,953
政策局	政策企画課	6	熊本地震10年シンポジウム等開催経費	4,000
	広報課	7	熊本地震10年普及・啓発経費 (熊本地震記録映像集の作成)	6,000
	危機管理課	8	熊本市特別防災訓練事業	25,600
		9	防災基本条例推進経費(防災パーク)	14,000
経済観光局	イベント推進課	10	にぎわいづくり推進経費	5,000
		11	熊本城マラソン開催経費	3,400
都市建設局	市街地整備課	12	花畑広場5周年事業	500
中央区役所	総務企画課	13	(中央区)熊本地震10年関連事業	1,400
東区役所	総務企画課	14	(東区)熊本地震10年関連事業	3,400
西区役所	総務企画課	15	(西区)熊本地震10年関連事業	3,200
南区役所	総務企画課	16	(南区)熊本地震10年関連事業	2,600
北区役所	総務企画課	17	(北区)熊本地震10年関連事業	2,400
教育委員会	熊本博物館	18	特別展等開催経費	453
(4)支援への感謝と恩返し				147,650
政策局	広報課	19	熊本地震10年普及・啓発経費 (熊本地震10年関連広報)	15,000
経済観光局	経済政策課	20	熊本地震復興10年物産振興事業	2,000
	商業金融課	21	中小企業団体全国大会開催経費	2,750
	観光政策課	22	熊本城REVIVAL2026開催事業	60,000
	誘致戦略課	23	熊本地震10年復興イベント	8,900
農水局	農水ブランド戦略室	24	熊本地震10年復興マルシェ開催経費	5,000
都市建設局	花とみどり協働課	25	緑化推進協働経費(くまもと花博)	54,000
合計(25事業)				245,547

※最も関連が深い基本理念の4本柱ごとに事業を掲載

重点事項2 こども局予算の全体像

160事業 725億円（前年度：147事業 688億円）

※主な事業を掲載し、教育委員会の取組に係る予算は計数に含めていない。

（単位：千円）

No.	課 名	事 業 名	事 業 概 要	予 算 額
Ⅰ	こどものいのちと権利を守る取組			（小計：112,909）
1	こどもの権利サポートセンター	■ こどもの権利サポートセンター運営経費	こどもの権利サポートセンターの運営に要する経費	24,970
2	保育幼稚園課	■ 認可外保育施設等AED設置支援事業	AED未設置の認可外保育施設等に対する設置の支援に要する経費	9,350
3	妊娠内密相談センター	■ 妊娠相談支援体制強化事業	妊娠内密相談センターの運営等に要する経費	3,790
4	児童相談所	■ こどもセンター防犯カメラ設備改修事業	こどもセンターにおける防犯カメラの改修工事に要する経費	38,900
Ⅱ	社会全体で子育て当事者を支える取組			（小計：58,250,964）
1	こども支援課	■ 産後ケア事業	産後の心身の不調や育児に不安を抱える母子に対する心身のケアや育児のサポートに要する経費	80,000
2		■ 地域で子育て応援事業	子育て応援アプリ「くまっと」の電子クーポン活用による、地域での子育て支援の促進と子育て世帯の経済的・精神的負担軽減に要する経費	47,000
3	保育幼稚園課	■ 施設型給付費・地域型保育給付費	認定こども園、幼稚園、保育所及び地域型保育事業所への給付に要する経費	32,696,000
4	こども家庭福祉課	■ 子育て短期支援事業	社会的な理由等で一時的な養育が必要となったこどもを児童養護施設等で預かるために要する経費	38,700
Ⅲ	安心・安全な居場所づくり・学びの提供			（小計：51,108）
1	こども政策課	■ こどもの未来応援基金関係経費 ■ 新たなこども食堂支援事業	こども食堂の運営支援等のこどもの未来応援基金を活用した取組に要する経費及び未開設地域における新規開設を促進するための経費	17,366
2	こども家庭福祉課	■ こどもの居場所支援事業	家庭や学校に居場所のないこどもに包括的な支援をするための居場所運営に要する経費	32,100
3		■ 放課後学習教室開催経費	教員退職者等の協力による空き教室を活用した学習支援に要する経費	1,642
Ⅳ	困難な状況にあるこどもや家庭の支援			（小計：9,883,843）
1	こども支援課	■ 小児慢性特定疾病児童等医療支援経費・自立支援事業	慢性疾患を抱えるこどもや家族に対する相談体制の充実等に要する経費	309,652
2	保育幼稚園課	■ 私立保育所等障がい児保育助成	私立保育所等における障がい児保育に係る職員雇用に対する助成等に要する経費	412,300
3	こども発達支援センター	■ こども発達支援センター運営経費	こどもの発達に関する相談や検査体制の整備等に要する経費	43,385
4	児童相談所	■ 児童入所施設措置経費	児童養護施設等への入所措置に要する経費	3,028,000
Ⅴ	若者等の希望の実現、活躍の場の提供			（小計：57,820）
1	こども政策課	■ 結婚支援事業	出会いの機会を提供するための拠点となるくまもと出会いサポートセンターの運営等に要する経費	45,000
2	保育幼稚園課	■ 保育人材確保支援事業	潜在保育士等の就職や資格取得に対する支援、キャリア教育を実施する養成施設に対する支援等に要する経費	5,920
	その他（人件費・事務費）			4,115,041
	Ⅰ～Ⅴ・その他（人件費・事務費） 合計			72,471,685

重点事項2 こどもの性被害防止対策関連事業一覧

32事業 3.0億円

令和8年度当初予算に計上しているこどもの性被害防止対策関連事業

（単位：千円）

項目	局	課	取組	予算額
Ⅰ.未然防止（抑止力の強化）				56,564
啓発				2,435
	文化市民局	男女共同参画課	男女共同参画出前講座等による周知啓発	300
	こども局	妊娠内密相談センター	こども向け性教育講演会	264
		こども家庭福祉課	オレンジリボンキャンペーン	1,871
研修				5,717
	こども局	こども支援課	子育てほっとステーション職員虐待防止研修	75
		保育幼稚園課	保育園等職員性被害防止専門研修会	23
			熊本市保育所等職員合同研修会（人権保育・教育研修会）	15
			公立保育園職員（リーダー期）研修会	23
		妊娠内密相談センター	専門職向け性教育研修会	233
		児童相談所	児童相談所職員研修	3,642
	教育委員会	放課後児童育成課	児童育成クラブ支援員を対象とした研修の実施	89
		指導課	校長・園長を対象とした研修の実施	100
		人権教育指導室	教育委員会事務局職員等人権啓発研修会	126
			副校長・教頭・幼稚園主任教諭人権教育研修会	143
		健康教育課	小学校における「いのちの大切さを考える講演会」の充実	1,248
環境整備				48,412
	こども局	こども政策課	公立保育所等のこども安心ルール制定	720
			公立保育所等の巡回点検	780
		保育幼稚園課	公立保育園へのパーテーション等設置	1,000
		こども家庭福祉課	こどもの意見表明の支援等	11,022
			児童家庭支援センターにおける相談対応	33,300
		児童相談所	第三者評価業務委託	990
	教育委員会	指導課	公立幼稚園へのパーテーション等設置	600

項目	局	課	取組	予算額
Ⅱ.早期発見				89,454
環境整備・警備・見守り				89,454
	こども局	こども支援課	公設児童館への防犯カメラ設置	7,000
		保育幼稚園課	公立保育園出入口等への防犯カメラ等設置	4,554
		こども家庭福祉課	児童福祉施設等への防犯カメラ等の設置補助	17,500
		児童相談所	こどもセンター防犯カメラ設備改修事業	38,900
	教育委員会	放課後児童育成課	児童育成クラブ専用施設への防犯カメラの設置	13,100
			児童育成クラブ専用施設へのセンサーライト等の設置	1,500
		健康教育課	学校の正門・通用門への防犯カメラの設置	6,900
Ⅲ.被害者支援				150,719
相談・ケア				150,719
	こども局	こどもの権利サポートセンター	こどもホットライン、24時間チャット相談による相談対応	24,970
		こども家庭福祉課	こども家庭センターにおける虐待相談・支援	50,286
	教育委員会	教育政策課	スクールロイヤー制度の整備	1,300
		総合支援課	スクールカウンセラー・心のサポート相談員の配置	74,163
Ⅳ.熊本市こどもの性被害防止条例（仮称）の制定				3,000
条例制定				3,000
	こども局	こども政策課	熊本市こどもの性被害防止条例（仮称）の制定に向けた検討	3,000
合計（32事業）				299,737

重点事項3　渋滞対策・公共交通関連予算の全体像

16事業　132億円（前年度：15事業　112億円）

（単位：千円）

No.	局 名	課 名	事 業 名	事 業 概 要	予 算 額
Ⅰ　ソフト対策事業（交通渋滞の緩和、公共交通の機能強化・利用促進等）					（小計：1,371,200）
1	健康福祉局	高齢福祉課	■ 熊本市おでかけICカード関係経費	熊本市おでかけICカードに係るバス事業者等への運行負担金等に要する経費	732,000
2		障がい福祉課	■ 熊本市おでかけICカード関係経費（障がい者分）	熊本市おでかけICカードに係るバス事業者等への運行負担金等に要する経費	213,000
3	都市建設局	交通企画課	■ 交通需要マネジメント経費	地域拠点である南熊本駅周辺のあり方検討や渋滞解消に向けた公共交通への転換及び交通量分散等に要する経費	90,000
4			■ 熊本地域公共交通計画推進経費	熊本地域公共交通計画の改定に要する経費	9,600
5			■ 自動運転社会実装推進経費	運転士不足等の課題解決に向けた自動運転バスの実証実験に要する経費	116,000
6		公共交通推進課	■ 公共交通利用促進事業	公共交通の利用促進に取り組む交通事業者の支援等に要する経費	23,000
7			■ バス交通運行効率化関係経費	バス事業者が行う共同経営の実施に対する助成に要する経費	8,800
8			■ 公共交通のあり方検討経費	持続可能な地域公共交通の実現に向けた新たなマネジメント組織（運輸連合等）の検討等に要する経費	31,500
9			■ 基幹公共交通軸機能強化経費	基幹公共交通軸における定時性・速達性・輸送力等の機能強化に要する経費	58,600
10		地域交通支援課	■ コミュニティ交通推進経費	AIデマンドタクシー等の運行による公共交通空白地域等の解消に要する経費	76,700
11			■ 自転車活用推進経費	自転車ネットワーク計画のエリアの見直し等に向けた自転車活用の推進に要する経費	12,000
Ⅱ　ハード対策事業（渋滞箇所・関連箇所の道路等のハード整備）					（小計：11,854,449）
1	都市建設局	市街地整備課	■ 熊本駅新幹線口駅前広場交通対策経費	熊本駅新幹線口駅前広場の渋滞解消に向けた改修工事等に要する経費	337,500
2		土木総務課	■ 半導体関連企業集積交通対策経費	半導体関連産業集積に伴う交通対策のための工事及び設計等に要する経費	569,400
3			■ 熊本西環状道路整備経費	熊本都市圏内外の人流・物流、災害時活動を支援するため、「砂原工区」の早期開通に向けた整備に要する経費	7,028,000
4			■ 都市計画道路等の計画的な整備	（都）池田町花園線や国道501号等、都市の骨格を形成する都市計画道路等の幹線道路整備に要する経費	3,779,549
5			■ 10分・20分構想調査検討経費	住民参加型の道路計画を踏まえた概略ルート案等の検討に要する経費	140,000
Ⅰ・Ⅱ　合計					13,225,649

重点事項4　半導体関連予算の全体像①

33事業　12.6億円（前年度：32事業　10.8億円）

※下記の表には再掲事業があるため No.と事業数は一致しない

No.	プロジェクト	取組の方向性	局 名	課 名	事 業 名	事 業 概 要	予 算 額
1	戦略的な土地利用推進	半導体関連産業の集積を見据えた誘致活動の展開	経済観光局	企業立地推進課	■ 半導体関連企業誘致強化事業	半導体関連企業の立地促進のための誘致活動の実施	27,700
2					■ 立地企業支援事業	進出企業に対するフォローアップ支援の実施	4,000
3				経済政策課	■ 半導体関連企業進出に伴う取引拡大支援事業	地場企業の半導体関連の展示会出展、市場調査等に要する経費の助成	2,000
4					■ 台湾との経済交流促進事業	台湾における企業誘致活動や地場企業の販路拡大支援等の実施	20,416
5	人材確保・育成	人材不足への対応	政策局	東京事務所	■ 首都圏プロモーション経費	首都圏におけるネットワーク（TOKYO BASE 096）を活用した関係人口の創出及び本庁と連携した情報発信	8,400
6			経済観光局	雇用対策課	■ キャリアマッチ支援事業	半導体関連産業も含めた地場企業と求職者等とのマッチングイベントの開催	18,800
7					■ 地場企業インターンシップ促進事業	半導体関連産業も含めたインターンシップの自走化を目指したセミナーの開催	7,000
8					■ しごと学びWEBライブ事業	半導体関連産業も含めた地場企業と地域産業を学ぶ機会の創出（対象：小中学生）	10,000
9					■ UIJターン移住促進雇用対策事業	半導体関連産業も含めた人材確保のため、サポートデスク運営や移住プロモーション等を実施	29,800
10			教育委員会	地域教育推進課 指導課 教職員課	■ 熊本市版みらいの科学者・DX人材共創プロジェクト	企業版ふるさと納税を活用した理系・デジタル人材育成のための取組を実施	52,022
11	国際交流・広報	外国人受入環境整備	政策局	広報課	■ ホームページ関係経費	外国人にもわかりやすい「やさしい日本語」への変換システムの運用	264
12					■ SNSを活用した情報発信経費	LINEによる情報発信の多言語化（英語、中国語（繁体字・簡体字）、韓国語、ベトナム語、ネパール語、インドネシア語）	2,050
13		台湾からの移住者の受入環境整備		国際課	■ 台湾との交流促進経費	半導体関連企業進出に伴う多文化共生推進事業と台湾からの移住者支援	4,900
14		台湾に対するPR			■ 友好姉妹都市等交流促進経費	台湾・高雄市との交流促進事業の実施	6,382
15			経済観光局	観光政策課	■ 台湾誘客経費	県内自治体と連携した台湾からの観光誘客プロモーションの実施	8,000
16			農水局	農水ブランド戦略室	■ 半導体関連企業の熊本進出を契機とした海外への食の魅力発信事業	本市の農水産物・加工品の輸出や台湾をターゲットとした販路拡大、プロモーションを支援	12,250

（次項につづく）

重点事項4　半導体関連予算の全体像②

（単位：千円）

No.	プロジェクト	取組の方向性	局 名	課 名	事 業 名	事 業 概 要	予 算 額
17	交通課題対策	企業誘致を見据えた交通インフラ対策の実施	都市建設局	交通企画課 道路計画課	■ 半導体関連企業集積交通対策経費	半導体関連産業集積に伴う交通対策のための工事及び設計等	569,400
18		熊本港の機能強化や都市圏3連絡道路の実現		交通企画課	■ 港湾整備県事業負担金	熊本港における耐震強化岸壁等の整備に対する負担金	130,900
19				道路計画課	■ 10分・20分構想調査検討経費	住民参加型の道路計画を踏まえた概略ルート案等の検討	140,000
20	住環境対策	外国人受入環境整備	政策局	国際課	■ 台湾との交流推進経費	No.13 再掲	—
21					■ 外国人受入環境整備事業	地域日本語教室の開催及び「生活」に密着した体系的な日本語教育カリキュラムの開発	12,260
22			文化市民局	地域政策課	■ 町内自治振興育成経費	在住外国人を対象とした自治会加入リーフレット多言語版の印刷	100
23			教育委員会	指導課	■ 日本語指導環境整備事業	日本語指導が必要な帰国・外国人の児童生徒等に対応する日本語指導協力員の配置等	29,100
24			中央区・ 東区・北区	まちづくりセンター　ほか	■ 各区まちづくり推進経費	地域住民と外国人住民との交流を深める機会を創出することで、多文化共生を推進	2,467
25		人口流入に対する適切な居住誘導	都市建設局	市営住宅課 住宅政策課	■ 市営住宅長寿命化関連経費	半導体企業進出で変化する住宅需要も踏まえた集約建替等計画の策定	17,500
26	環境保全対策	地下水かん養対策の推進	環境局	水保全課	■ 広域水保全体制運営経費	くまもと地下水財団と連携した湛水事業の実施	12,892
27					■ 白川中流域かん養推進経費	白川中流域における水田湛水の協力農家に対する助成	90,900
28					■ 地下水位観測経費	半導体企業進出に伴う地下水量への影響監視、観測井の機器更新	16,046
29					■ 節水対策経費	節水市民運動を展開し、節水啓発と器具普及を推進	4,200
30		水質保全対策の強化			■ 水質保全対策強化経費（地下水）	指針値超過が確認されたPFASの継続監視のため、井戸の調査を実施	7,400
31					■ 水質保全対策強化経費（公共用水域）	公共用水域における要監視項目等の拡充・調査の実施	7,400
32					■ 有機フッ素化合物対策経費	PFASの調査・対策のため、有機フッ素化合物対策検討委員会の開催	1,500
33		地下水保全対策の推進			■ くまもと水ブランド情報発信経費	地下水保全の取組を『くまもと水ブランド』としてPRし、地下水保全活動に取り組む人材の育成を推進	4,000
34					■ 地下水保全条例検討経費	近年の社会情勢の変化による地下水への新たな懸念に対応するための「熊本市地下水保全条例見直し委員会」の開催	900
計							1,260,949

2. 各ビジョンにおける主な取組

熊本市第8次総合計画の基本計画に掲げる8つのビジョン及び区における自主自立のまちづくりにおける、令和8年度の主な取組を記載しています。

【凡例】

新 ：令和8年度から新たに実施する取組を含む

拡 ：令和8年度より内容を拡充等して実施する取組を含む

第8次総合計画

8つのビジョンに実現に向けて3つの横断的な視点を持って取り組みます。

の8つのビジョン

「SDGsの推進」「デジタル化、DXの推進」「市域を越えた広域的な連携の強化」

ビジョン1　こどもが輝き、若者が希望を抱くまち

◆ ビジョン1がめざす姿と取組の方向性

　こどもの笑顔があふれ、若者をはじめとした多様な人々が希望を抱いて暮らすことができるまちを目指し、結婚、妊娠、出産などの希望を叶えるための支援とともに、こども基本法の理念にのっとり、こどものいのちと権利を守り、こどもの健やかな成長と安心してこどもを産み・育てることができる環境の整備を進めます。

　また、すべてのこどもの最善の利益を確保するため、困難な状況にあるこどもや子育て家庭を支援する取組を進めるとともに、こどもを主体とした教育を推進します。さらに、次世代を担うこどもや若者はもとより、女性や高齢者、障がいのある人、外国人などの多様な人材が活躍できる環境の整備を進め、人材の定着と移住の促進を図ります。

◆ ビジョンを実現するための施策

1-1　すべてのこどもの健やかな成長と家庭の幸せへの支援	すべてのこどもに笑顔があふれ、子育てに夢や希望を持てるまちをつくります。
1-2　困難な状況にあるこどもや子育て家庭への支援	困難な状況にあるこどもや子育て家庭に適切な支援が行き届き、すべてのこどもの最善の利益が確保できるようにします。
1-3　こどもを主体とした教育の推進	充実した教育環境のもと、こども一人ひとりを尊重した教育を通して、これからの時代を切り拓くこどもを育てます。
1-4　まちを支える人材の確保・育成	性別、年齢、国籍などにかかわらず、多様な人材がそれぞれの能力をいかすことができる、住んでみたい・住み続けたいまちをつくります。

（関連するビジョン）ビジョン2　市民に愛され、世界に選ばれる、持続的な発展を実現するまち／ビジョン4　だれもが自分らしくいきいきと生活できるまち／ビジョン6　すべての市民がより良い暮らしを営むまち

ビジョン1　こどもが輝き、若者が希望を抱くまち

結婚支援

拡 **くまもと出会いサポートセンターで結婚を後押し**　45,000千円

12の近隣市町村と共同で運営している「くまもと出会いサポートセンター"Kumarry(クマリー)"」の婚活イベント実施回数を増加させるなど拡充を図ります。

☑結婚支援に係る予算の増
R7:33百万円⇒R8:45百万円(1.4倍)

子育て環境の整備

新 **不妊治療費の助成**　18,500千円

保険診療と併用して実施する先進医療について、保険適用外であり費用負担が大きいことから、一部助成を実施します。

新 **地域で子育て応援事業**　47,000千円

子育て応援アプリ「くまっと」の電子クーポンを活用し、地域での子育て支援の促進と子育て世帯の経済的・精神的負担の軽減を図ります。

新 **こどもの性被害防止に向けた取組**　79,814千円

学校、児童福祉施設等におけるカメラ設置や、校長、園長等を対象とした性被害防止に向けた研修等を行うことで、こどもの性被害防止に向けた取組を強化します。

新 **新生児に対する聴覚検査の実施**　26,000千円

聴覚障がいは、早期発見・適切な支援で言語発達への影響が最小限に抑えられることから、全ての新生児を対象とした聴覚検査の実施体制を構築します。

拡 **安心できるこどもの居場所の確保**　32,100千円

心理面の支援を行うため、令和8年度から心理相談員を配置し、家庭や学校に居場所のないこどもに、より安心・安全な居場所を提供するなどの包括的な支援を実施します。

拡 **児童育成クラブの体制整備**　2,716,400千円

受入れ児童数の増加に対応するため、手狭な施設や老朽化した施設の増改築を行うとともに、支援員の確保を行います。

結婚支援事業

くまもと出会い サポートセンター
Kumarry

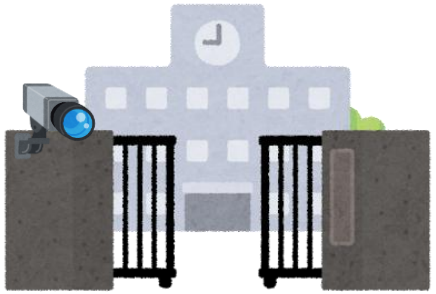
【御祝】
令和7年度
成婚数8組※

※R8.1.31時点

「くまっと」を活用した地域での子育て支援

こどもの性被害防止

防犯カメラや
センサーライトの設置



校長・園長や児童育成クラブ
支援員等を対象とした研修

ビジョン1　こどもが輝き、若者が希望を抱くまち

子育て環境の整備

拡 こどもの未来応援基金を活用した支援　16,900千円

物価高騰の影響等を受けるこども食堂の継続的な活動を支えるため、助成額を見直し、地域での子育て支援を推進します。

拡 こども誰でも通園制度の実施　103,695千円

保育所等に通っていない生後6カ月～2歳のこどもなら誰でも、親の就労状況等に関わらず、月10時間の利用枠内で保育施設を利用できる「こども誰でも通園制度」の実施施設数を拡充します。

☑実施施設数を拡充
R7:11施設➤R8:20施設

拡 こども発達支援センターの体制強化　43,385千円

学童期以上の発達検査について発達検査業務の委託を実施することで、迅速な検査を実施し、こどもの特性や家庭の状況に合わせた質の高い支援体制の構築を図ります。

新 小児慢性特定疾病を有する児童等への自立支援事業　1,653千円

慢性疾患を抱えるこどもの生活支援や将来の自立に向けた就労等に不安や悩みを感じているこどもとその家族に対する相談体制の充実を図ります。

いのちを守る

新 認可外保育施設等へのAED設置支援事業　9,350千円

「熊本市教育・保育施設等における死亡事案の再発防止のための検証報告書」を受けて、AED未設置の認可外保育施設等に対してAED設置支援を行い、再発防止に向けた取組を実施します。

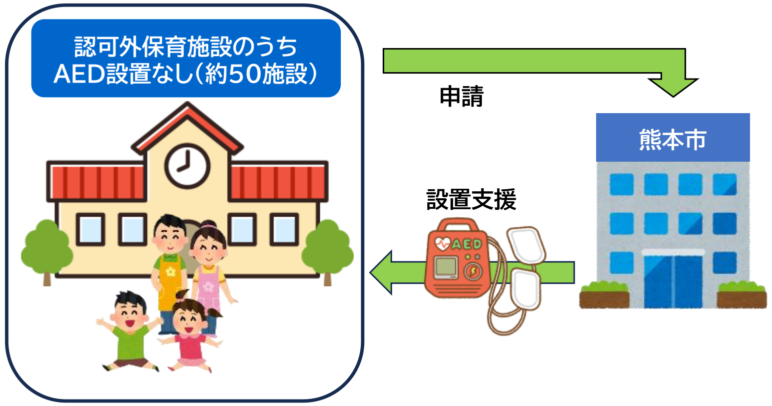
母子のケア

拡 産後の母子への専門的なケアの実施　80,000千円

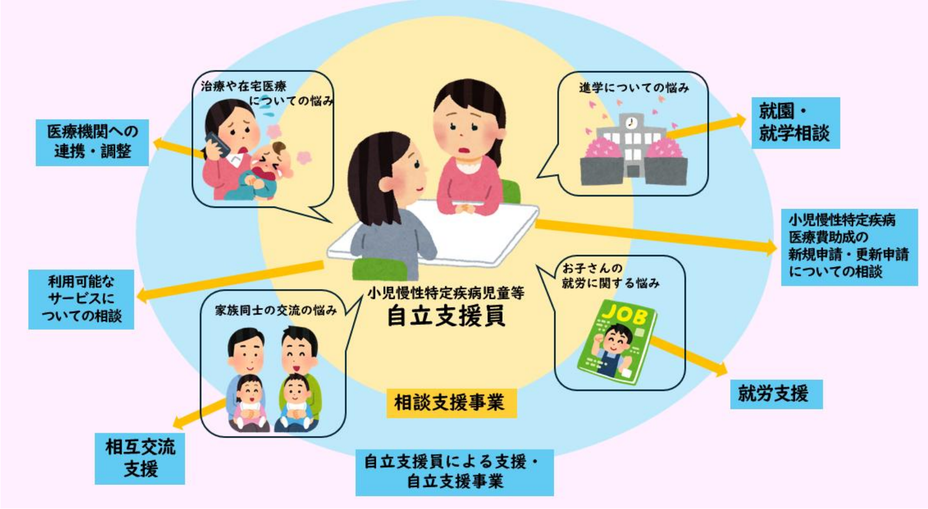
産後の育児への不安や負担、不調を訴える産婦に対し専門的ケアを行い、健やかな育児ができるよう支援します。

こども食堂

認可外保育施設等へのAEDの設置



小児慢性特定疾病への支援



ビジョン1　こどもが輝き、若者が希望を抱くまち

教育環境の整備

新 小学校給食費の無償化等

429,182千円
※公費負担部分

令和8年4月から実施される、国による学校給食費の抜本的負担軽減（いわゆる給食無償化）に上乗せする形で、小学校における給食費無償化及び中学校における負担の軽減を実施します。

拡 新しい学校部活動の実施に向けた取組

123,900千円

部活動指導者マッチングシステムを活用した人材確保や寄附等による財源確保に取り組むとともに、部活動指導員の配置拡充により、顧問教員の負担軽減や部活動の指導体制の充実を図ります。

☑部活動指導員の増員
R7:42人➤R8:84人(倍増)

拡 学校施設の適切な管理と体育館等への空調設置等の推進

9,735,485千円
（一部R7補正計上）

体育館等への空調設置に向け設計を実施するほか、学校施設の増改築や天明義務教育学校の建設を着実に進めるとともに、トイレ洋式化やエレベーターの設置等のバリアフリー化を推進します。

いじめ・不登校児童生徒への“こころの居場所づくり”

61,100千円

別室登校の児童生徒を支援する不登校対策サポーターの配置や、不登校児童生徒の自立を支援するフレンドリー、オンライン学習支援等による支援を実施します。

支援体制の強化による教育環境の整備

694,100千円

心のケアを必要とする児童生徒等に対して専門的なカウンセリングを行うスクールカウンセラーや、医療的ケアを必要とする児童生徒に対応する看護師（学級支援員）を配置し、支援を実施します。

人材確保

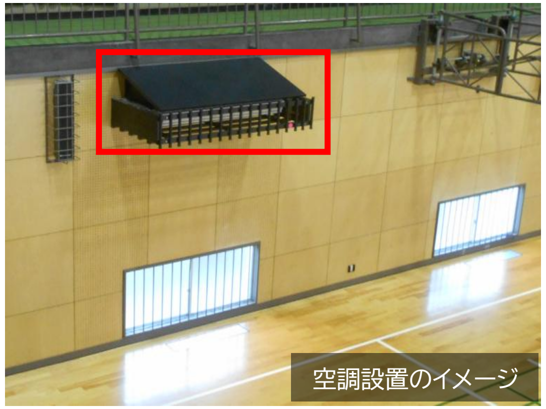
教育現場体験による教員確保

2,800千円

教員免許を保有しているものの教育現場での勤務をしていないペーパーティーチャーを学校におけるアシスタントとして受け入れ、教育活動の補助や児童生徒との関わりを通じて現場理解を促進し、採用につなげることで、教員確保を図ります。

小学校給食費の無償化等

体育館等における空調設置



空調設置のイメージ

新しい学校部活動

教育現場の体験

教育現場の体験イメージ

ビジョン2　市民に愛され、世界に選ばれる、持続的な発展を実現するまち

◆ ビジョン2がめざす姿と取組の方向性

　市民に愛され、世界に選ばれる、持続的な発展を実現するまちを目指し、半導体関連企業等の進出を背景に、企業誘致や創業支援、中小企業の基盤強化など地域経済全体の発展に取り組みます。
　また、本市への注目や旅行需要の高まりを契機に、豊かな水と緑、良質な農水産物、歴史と文化、にぎわいに満ちた中心市街地など、本市の様々な魅力を磨き上げます。
　さらに、活発な経済活動を支える広域交通ネットワークの形成に取り組むとともに、活力と魅力に満ちた持続可能な農水産業の振興にも取り組みます。

◆ ビジョンを実現するための施策

2-1　半導体関連産業等への新たな投資の後押しや中小企業等の振興	半導体関連企業の進出を好機として様々な企業が集積し、スタートアップが連鎖的に生まれ、中小企業が力強く活躍し続ける、ビジネス拠点としての地位を確立します。
2-2　世界を魅了する都市ブランド力の向上	豊かな水と緑、歴史と文化、にぎわいに満ちた中心市街地など本市の魅力を最大限に引き出し、世界が憧れ、市民が誇りを感じるまちをつくります。
2-3　交流人口拡大によるにぎわいの創出	本市の様々な魅力を最大限にいかし、人を呼び込み、地域経済の活性化とにぎわいの創出につなげます。
2-4　広域交通ネットワークの形成による物流・人流の円滑化	都市の活発な活動を支える広域交通ネットワークの形成により、ヒトとモノの流れを円滑化し、流動性を高めることで、経済発展を加速化するとともに、地域の潜在力を引き出します。
2-5　活力と魅力に満ちた持続可能な農水産業の振興	経営向上に挑戦する農漁業者を応援するとともに、安全・安心で良質な農水産物を国内外にアピールすることで、農水産業の持続的発展を目指します。

（関連するビジョン）ビジョン5　豊かな環境を未来につなぐまち／ビジョン7　安全で良好な都市基盤が整備されたまち

ビジョン2　市民に愛され、世界に選ばれる、持続的な発展を実現するまち

戦略的な企業誘致

新 半導体関連産業集積に伴う経済活性化　22,416千円

台湾における半導体関連企業などの企業誘致活動や地場企業の販路拡大支援等を実施し、さらなる経済交流等の促進を図ります。
また、地場企業の半導体関連の展示会出展や市場調査等への助成を実施します。

半導体関連企業の誘致強化　27,700千円

半導体関連企業の企業情報や進出意向の調査を行い、効果的な誘致活動を実施し、半導体関連企業の誘致を促進します。

誘致活動による企業立地の促進　1,134,100千円

本市への企業立地を促進するため、企業に対する誘致活動とともに、設備投資や雇用に係る費用の一部助成を実施します。

半導体関連企業集積に伴う交通対策の促進　569,400千円

産業ゾーンへの半導体関連企業の集積に伴う交通諸課題に対応するため、周辺道路の交差点改良等のインフラ整備を促進します。

スタートアップ

拡 “熊本版スタートアップエコシステム”の構築　66,800千円

熊本のスタートアップと全国の事業会社とのマッチングや成長段階に応じた伴走支援、首都圏・九州圏内でのPR活動、設立中のスタートアップ支援ファンドとの連携を通じて、”熊本版スタートアップエコシステム”の構築を目指します。

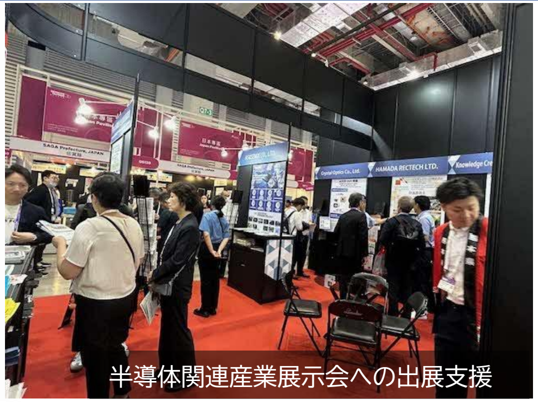
都市ブランド

拡 中心市街地における歩行者空間の整備　66,200千円

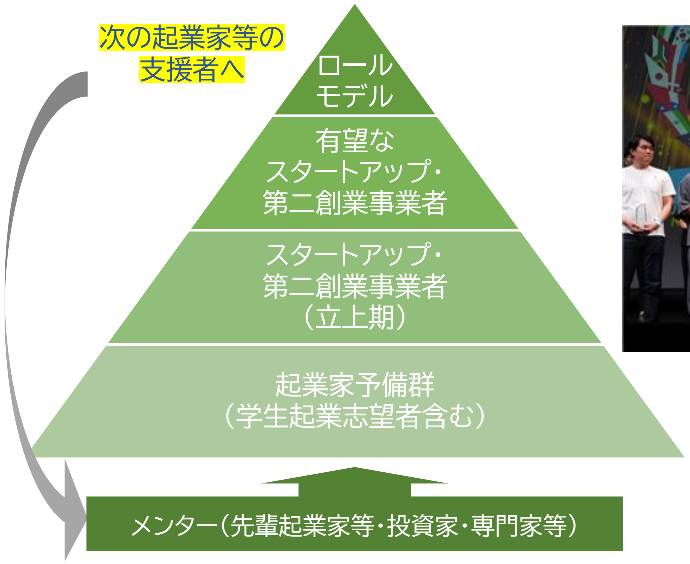
行幸橋の歩道拡幅など中心市街地における歩行者空間整備等による、歩いて楽しめる都市空間の創出に取り組みます。

半導体関連産業の振興

台湾での企業誘致セミナー


半導体関連産業展示会への出展支援

スタートアップエコシステム※（成長と支援の循環）



スタートアップWカップ（九州予選）

※ロールモデルとなる事業者を輩出し、次のスタートアップの支援者として、機運醸成や伴走型支援などに取り組み、スタートアップの連続排出を目指す仕組みのこと。

ビジョン2　市民に愛され、世界に選ばれる、持続的な発展を実現するまち

都市ブランドの向上

拡 観光資源の魅力創出による地域ブランド力の向上　29,500千円

植木温泉の認知度向上と新たな観光誘客に向けたブランディングを進めるとともに、夏目漱石など熊本ゆかりの偉人や西南戦争など歴史文化をストーリー仕立てにした情報発信を行います。

☑ブランド力向上に係る予算の増
R7:10百万円⇒R8:30百万円(3.0倍)

新庁舎整備を契機としたまちづくりの推進　62,400千円

新庁舎整備を契機としたまちづくりを進めるため、本市の現状や課題の分析をもとに、現庁舎跡地にふさわしい利活用や周辺の建替え促進、回遊性向上にかかる取組の方向性について検討を進め、“(仮称)庁舎周辺まちづくりプラン”としてとりまとめます。

交流人口の増加・にぎわい創出

拡 観光客誘致や効果的な観光情報の発信　228,500千円

熊本国際観光コンベンション協会との連携による観光客誘致や本市観光ウェブサイトのリニューアル等を実施します。

☑誘客等に係る予算の増
R7:0.9億⇒R8:2.3億(2.6倍)

新 熊本城REVIVAL2026開催事業　60,000千円

震災から10年を迎え、これまで多くの市民の皆様が総力をあげて取り組んできた活動や国内外からの様々な応援を振り返り、感謝を伝えるため、熊本城を中心に年間を通した復興イベントを実施します。

台湾へのプロモーションによる誘客の促進　8,000千円

台湾開催の旅行博等での県や県内自治体と連携した現地プロモーションや、SNSを活用した情報発信等により台湾からの誘客を促進します。

拡 戦略的なMICE誘致活動の推進　150,000千円

更なる誘致強化を図るため、MICE誘致助成額の上限額引き上げや、国際会議等の誘致を担う専門人材、データ分析等を担うマーケティング担当職員のコンベンション協会への配置などの体制強化に取り組みます。

☑MICE誘致に係る予算の増
R7:1.0億⇒R8:1.5億(1.5倍)

観光資源の魅力創出

▲UekiArtSpa 植木温泉 湯幻灯2025

熊本城REVIVAL2026

▲夜間ライトアップイメージ

プロモーション

▲2025台北国際旅行博

MICE誘致

▲熊本城天守閣前広場でのレセプション

ビジョン2　市民に愛され、世界に選ばれる、持続的な発展を実現するまち

農水産業の振興

拡 農業経営の高度化のための支援 53,100千円

農業の競争力強化や自然災害等に対応するため、スマート農業の推進、夏期を中心とした高温への対策や、防油堤への補助を含む自然災害対策など、農業者の主体的な取組を支援します。

☑補助率のかさ上げ（防油堤整備）
通常1/2►2/3

農業基盤整備の着実な推進 588,633千円

排水不良や法面崩壊等により地区の排水に支障を来している水路が多く、維持管理に多大な労力を要していることなどから、用排水路及び農道の整備を行うことにより、農業経営の安定化を図ります。

農と食の魅力創造

新 熊本食の祭典開催等による魅力発信 12,000千円

熊本日曜朝市マルシェと熊本飲食店フェアを一体的に実施する熊本食の祭典を開催し、本市の新たな観光資源の構築と、観光客への地元農水産物の魅力発信を行います。

半導体関連企業の進出を契機とした海外への食の魅力発信 12,250千円

半導体関連企業の熊本進出を契機として、生産者等の輸出や台湾をターゲットとした販路拡大・プロモーションを支援します。

年間を通した国内への熊本産品プロモーション 15,000千円

大消費地である首都圏での販路拡大に向け、熊本産品の旬をとらえた効果的なプロモーションを通年で実施します。

自然災害への対応

重油タンク等の防油堤

スマート農業の推進

農業用ドローン

自動運転（有人）トラクター

朝市マルシェや飲食店フェアの開催

▲朝市マルシェ

▲飲食店フェア

ビジョン3　市民生活を守る強くしなやかなまち

◆ ビジョン3がめざす姿と取組の方向性

　あらゆる危機事象から市民の生命と健康、暮らしを守る強くしなやかなまちを目指し、熊本地震や過去の風水害、新型コロナウイルス感染症などへの対応で得た教訓を踏まえ、市民や地域、民間事業者と協力しながら、ハード・ソフト両面の対策に取り組みます。
　さらに、安全・安心なまちづくりに向け、交通安全・防犯、消防・救急体制の整備を進めるとともに、質の高い救急及び医療体制の充実を図ります。

◆ ビジョンを実現するための施策

3-1　防災・減災の推進	これまでの災害の教訓をいかし、地域防災力の最大化に努めながらハード・ソフトの両面から対策を進め、激甚化する災害や多様化する危機事象から市民生活を守ります。
3-2　保健衛生体制の強化と医療提供体制の確保	新型コロナウイルス感染症の経験をいかし、感染症等の健康危機発生・拡大に迅速に対応できる保健衛生体制の強化を図ります。また、関係機関等との連携により、医療提供体制の確保、生活衛生の充実に努めます。
3-3　総合的な消防・救急体制の強化	消防・救急体制の更なる充実を図り、市民の生命と財産を守ります。
3-4　交通安全・防犯の推進	交通事故や犯罪などのない安全で安心して暮らせるまちづくり、犯罪被害者に優しいまちづくりを推進します。また、交通事故や犯罪被害に遭わないよう、平時から交通安全や防犯の啓発に取り組みます。

（関連するビジョン）ビジョン2　市民に愛され、世界に選ばれる、持続的な発展を実現するまち／ビジョン6　すべての市民がより良い暮らしを営むまち／ビジョン7　安全で良好な都市基盤が整備されたまち

ビジョン3　市民生活を守る強くしなやかなまち

防災・減災の推進

新庁舎整備の推進　527,600千円

新庁舎整備の基本設計に着手し、基本設計に必要な地質調査業務等を実施するとともに、オープンハウス等を実施し、市民の皆様の意見を踏まえながら検討を進めます。

新 熊本市特別防災訓練の実施　25,600千円

九州市長会防災部会等と連携した総合的な防災訓練において、災害発生時から48時間以内に、TKB48※(トイレ・キッチン・ベッド)の揃った避難所運営を目指す訓練等を実施します。

※災害時の避難所において、「T=トイレ、K=キッチン、B=ベッド」の3要素を発災から48時間以内に整備することを目指す避難所運営の指針

☑新たな取組
九州市長会との連携により広域連携を推進

拡 指定避難所等の機能強化　142,700千円

指定避難所等における備蓄倉庫の設置や物資の配備及び津波等避難に関する調査検討や避難場所標識の整備を推進します。

拡 河川整備や排水機場整備など浸水対策の推進　782,700千円

近年、局地的かつ短時間の大雨が頻発する中、本市で管理する広域河川(1・2級河川)及び準用河川※において、引き続き治水対策が必要な河川の改修を推進します。また、排水機場の機能強化やワンコイン浸水センサーを設置するなど浸水対策強化にも取り組みます。

※　本市管理河川・・・1級河川:5、2級河川:3、準用河川:31

拡 災害時の避難行動促進への取組　52,000千円

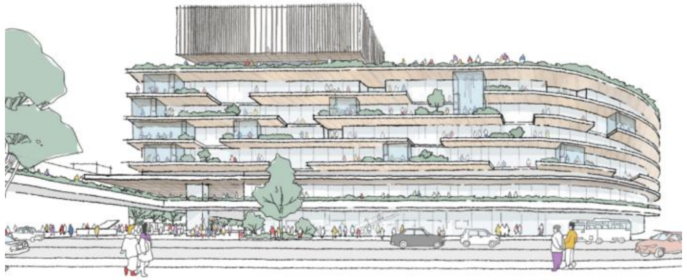
内水ハザードマップを作成し、市民の皆様に配布することで、災害時に適切な避難行動ができるよう防災意識の向上を図ります。

新 災害リスクの高いエリアからの居住誘導促進　10,000千円

土砂災害特別警戒区域からの移転を促進するとともに、居住誘導区域の人口密度を維持するために、新たな補助制度を創設します。

新庁舎整備

新庁舎(本庁舎・議会)イメージ



※現時点でのイメージ(今後変更の場合あり)

オープンハウス

熊本市特別訓練のイメージ

▲居住用シェルター

▲トイレコンテナ、シャワーコンテナ

ビジョン3　市民生活を守る強くしなやかなまち

防災・減災

新 災害・健康危機発生時の体制整備　2,600千円

災害時に迅速かつ円滑に医療救護活動を展開できるよう、平時からの研修等を通じて関係機関との連携を強化するとともに、災害時の確実な通信手段等を確保するため、多機能携帯電話やポータブル電源等を整備します。

新 熊本地震10年に係る普及・啓発　21,000千円

熊本地震の記録映像集を制作するほか、全国に向け、これまでの支援に対する感謝を伝えるとともに、市民の皆さまに向け、復興への協力に対する感謝を伝えるため、交通広告やSNS広告等で広報活動を実施します。

保健衛生

新 近隣市町村火葬場における管外使用料の助成　3,000千円

富合町・城南町等の西南部地域や河内町等の北西部地域をはじめ、本市の火葬場まで距離が遠い市民の移動・費用負担を軽減するため、近隣市町村の火葬場を利用した際の管外使用料の一部助成を実施します。

消防・救急の強化

拡 DXの推進及び現場職員の活動環境改善・人材確保の取組　25,900千円

DXの推進及び、市民の安心・安全を守る現場で活動する職員の活動環境改善と人材確保を通じて、持続可能な消防体制の構築を目指します。

拡 機械器具の整備による対応力強化　55,000千円

近年の複雑・激甚化する災害に対応するため、安心・安全で迅速な消防活動を支える資機材の充実強化を図ります。

西消防署移転事業　129,500千円

基本計画で提示された内容を踏まえ、必要な機能や施設整備の内容を整理し、庁舎建設及び用地造成のための基本実施設計等に取り組みます。

拡 消防団の機能強化の取組　20,000千円

近年減少が続く消防団員を確保するため、ポンプ点検や地域活動（日常的活動等）を実施した際にも出動報酬を支給し、消防団員の処遇改善を図ります。

☑日常的活動時の報酬支給
R7:0円⇒R8:**2,000円/日**

危機発生時の体制整備

多機能携帯電話

ポータブル電源

機械器具の整備

熱画像直視装置

消防団の機能強化

消防団員によるポンプ点検の様子

西消防署移転整備

ビジョン4　だれもが自分らしくいきいきと生活できるまち

◆ ビジョン4がめざす姿と取組の方向性

だれもが自分らしく生きることができるよう、ダイバーシティ（多様性）を推進し、性別、国籍、出身地、年齢、障がいの有無などによって差別や偏見を受けることがなく、人権が尊重され、お互いを認め合う人権尊重社会を実現します。

また、高齢者が生涯現役で安心して暮らすことができ、障がいのある人がいきいきと生活し、自分らしく活躍できる社会を推進するとともに、お互いがつながり支え合う地域づくり、誰一人取り残さない社会の実現に取り組みます。

さらに、男女共同参画の推進により、性別にかかわらず、だれもが自らの意思や意欲に応じて、社会のあらゆる場面で能力を発揮できる環境整備に取り組みます。

くわえて、増加する在住外国人と地域住民とが、お互いの価値観を尊重し合える暮らしやすいまちづくりを進めます。

◆ ビジョンを実現するための施策

4-1　人権尊重社会の実現	人権に対する市民の意識が高まることで、お互いの権利が尊重され、だれもが自分らしく生活できるまちを実現します。
4-2　だれもが生きがいを持ち、お互いに支え合える社会の実現	年齢や障がいの有無などにかかわらず、だれもが生きがいと尊厳を持って暮らし、お互いがつながり支え合うまちをつくります。
4-3　男女共同参画の推進	固定的性別役割分担意識や無意識の思い込みの解消により、性別にかかわらず、だれもが自らの意思と意欲に応じて、社会に参画できるようにします。
4-4　多文化共生の推進	本市に生活・滞在する外国人への、必要な情報の提供や様々な支援の充実とともに、国籍や言語の違いを越え、お互いの文化や価値観の相互理解と交流を促進することで、多文化共生を実現します。

（関連するビジョン）ビジョン1　こどもが輝き、若者が希望を抱くまち

ビジョン4　だれもが自分らしくいきいきと生活できるまち

生涯現役

新　加齢性難聴高齢者への補聴器購入費の助成　3,350千円

高齢者のフレイル予防※や認知症予防、社会参加促進のために補聴器購入費の一部助成を実施します。

※フレイル予防とは、年を重ね虚弱（フレイル）な状態になるのを防ぐこと。

自立支援・社会参加

拡　障がい者の特性に応じた就職支援　23,600千円

障がい者の就労支援を行う「熊本市障がい者就労・生活支援センター」の運営に加え、アプリ等を活用して企業における短時間勤務の情報を発信し、障がい者の就労の選択肢を広げ、就職をさらに促進します。

☑就労機会の増加
アプリの新規作成

新　視覚障がいに係る歩行訓練士の養成　2,900千円

現在専任で活動する歩行訓練士は県内で1名であることから、視覚障がい者の生活訓練を行う視覚障害生活訓練等指導者（歩行訓練士）の養成を実施します。

地域福祉

拡　校区社会福祉協議会への活動支援　9,500千円

校区社協が各地域の特性等に沿って取り組む様々な活動に対する支援を拡充し、地域の主体的な福祉活動等を推進します。

☑補助の拡充※
R7:5万円⇒R8:10万円

※校区・地区単位

国際交流・多文化共生

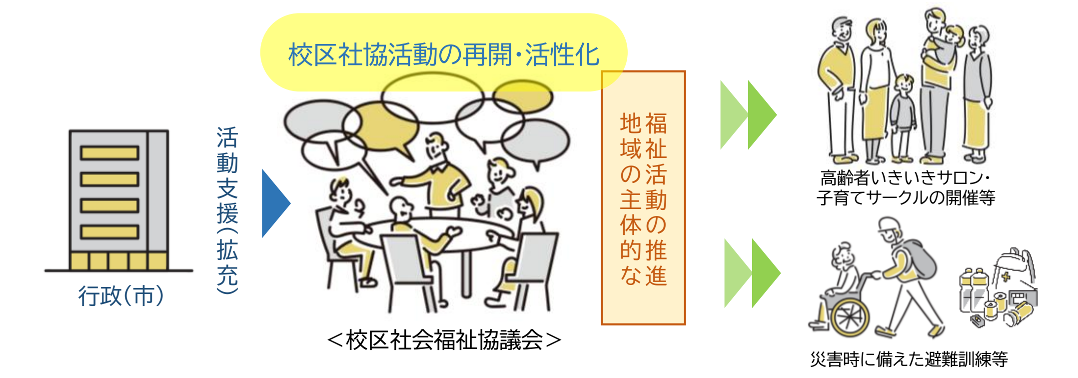
友好姉妹都市等との交流促進　33,100千円

海外の友好姉妹都市である米国・ジョージア州ローム市、台湾高雄市への熊本市代表団の派遣及び受入を実施し、両市との交流促進や本市のプレゼンスの向上を図ります。

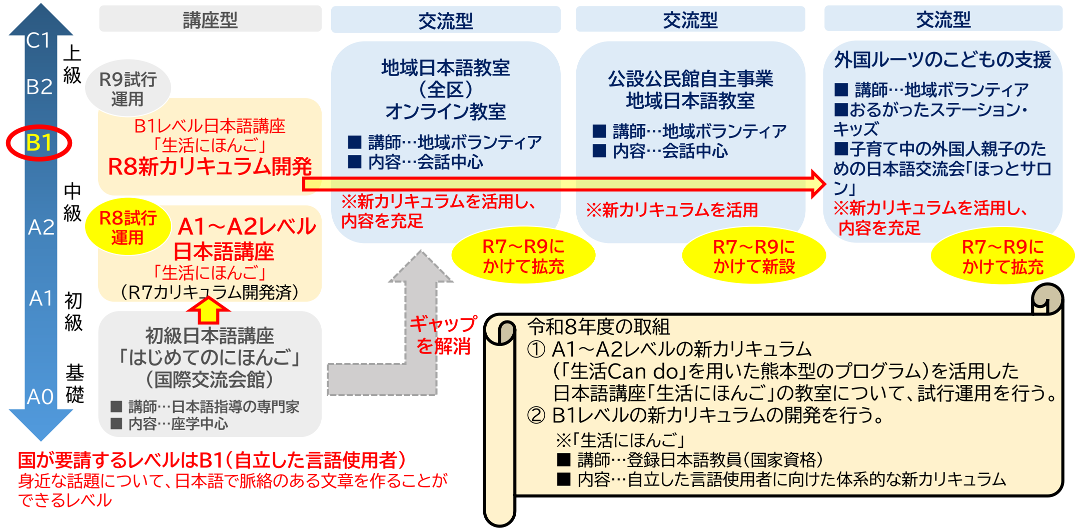
拡　外国人受入環境の整備　12,500千円

本市の在住外国人の増加に伴い日本語学習へのニーズが高まっていることから、生活等に必要な日本語の習得を支援します。また、従来の地域日本語教室の開催に加え、熊本の生活に密着した中級レベルの日本語教育プログラムの開発・提供を行い、教育の質の向上を図ります。

校区社会福祉協議会への活動支援



本市の在住外国人向け日本語教育カリキュラム



ビジョン5　豊かな環境を未来につなぐまち

◆ ビジョン5がめざす姿と取組の方向性

「恵まれた環境をまもり、はぐくみ、未来へつなぐ、持続可能な環境都市」を目指し、清らかな地下水や大気、快適で安全・安心な生活環境の保全に加え、その環境をもたらす生物多様性の保全に取り組みます。

また、大量生産・大量消費・大量廃棄型の社会経済活動や生活様式を見直し、3R＋リニューアブル（再生可能な資源への置き換え）の取組を進めながら、化石燃料等の枯渇性資源の消費を抑制し、環境への負荷が低減される循環型都市を目指します。

さらに、地球温暖化を防止するため、その原因となる温室効果ガスの排出を削減する取組を推進し、「2050年カーボンニュートラル」の実現を目指します。

◆ ビジョンを実現するための施策

5-1　カーボンニュートラルの実現	2050年カーボンニュートラルの実現を目指し、温室効果ガスの排出を削減する地球温暖化対策を推進します。
5-2　生物多様性の保全と自然との共生	私たちの生活に様々な恵みをもたらす生物多様性の保全に向け市民・事業者の行動変容を促すとともに、生物多様性を維持・回復させることで、自然と共生する社会を目指します。
5-3　持続可能な循環型都市の実現	ごみの減量化や資源化などに取り組むことで、環境負荷の少ない、循環型都市を目指します。また、災害時においても安定した廃棄物処理体制を確立します。
5-4　快適で安全・安心な生活環境の保全	私たちの生活に欠かせない水や大気が良好に保たれた快適で安全・安心な生活環境を保全します。また、人と動物が共生するより良い社会を目指して、動物の愛護と適切な管理、野生動物による生活被害への対策を推進します。

（関連するビジョン）ビジョン2　市民に愛され、世界に選ばれる、持続的な発展を実現するまち／ビジョン7　安全で良好な都市基盤が整備されたまち

ビジョン5　豊かな環境を未来につなぐまち

脱炭素化

拡 省エネルギー推進の取組　89,700千円

地球温暖化対策の推進を図るため、市民や事業者による電気自動車、太陽光発電設備、省エネ機器等の導入に対して補助を行います。
また、再配達の減少につながる宅配ボックスの設置・置き配を促進することで、運輸部門の温室効果ガス排出削減を推進します。

生物多様性

新 グローバルネイチャーポジティブサミット関連経費　10,000千円

令和8年7月のグローバルネイチャーポジティブサミット本市開催を契機に、熊本の生物多様性を回復軌道に乗せる「ネイチャーポジティブ」に向けた個人や企業等の連携が将来にわたって広がっていくよう、広報やサイドイベントを実施します。

環境保全・地下水保全

指定収集袋の製造等　362,400千円

令和8年4月より、燃やすごみ、埋立ごみの両方に使用できる指定収集袋を導入するほか、家庭ごみに係る指定収集袋の製造・配送・販売等を実施します。

水源かん養林の整備による地下水保全　63,700千円

西原村や大津町等で水源かん養林の整備を実施します。
（財源にはグリーン/ブルーボンドを活用予定）

拡 地下水を未来につなげるための地下水かん養の推進　104,692千円

くまもと地下水財団への負担金や白川中流域において水田湛水を行う農家に対する助成金の交付により、熊本地域の住民・事業者・行政との協働による地下水保全の取組を推進するとともに、地下水保全に向けた条例の見直しに取り組みます。

拡 水質保全対策の強化　16,300千円

PFASの指針値超過が確認された地点の監視を強化し、地下水及び公共用水域における水質の監視を実施します。

新 埋立処分場PFAS対策事業　1,500千円

埋立処分場における水質監視を実施します。

サミット（GNPS）の開催関連※

※GNPS：Global Nature Positive Summitの略称

▲街頭フラッグ

前回サミットの模様
【出典：Australian Government DCCEEW】

指定収集袋の見直し

地下水かん養の取組

水田湛水

水源かん養林の整備

ビジョン6　すべての市民がより良い暮らしを営むまち

◆ ビジョン6がめざす姿と取組の方向性

　すべての市民の生活の質の維持・向上のため、多様な人々が交流し、社会とつながる地域コミュニティづくりを支援します。

　さらに、人生100年時代、すべての市民が健康で、学びやスポーツなどの生きがいを持ちながら豊かな人生を送ることができるよう支援するとともに、身近に文化芸術に親しむことができるまちづくりを進めます。

　また、市民の安心を確保するため、社会保障制度を適切に運営します。

◆ ビジョンを実現するための施策

6-1　地域コミュニティ活性化の推進	地域に住むあらゆる人々が主体的に関わり、行政や事業者などと協働しながら、互いに温かく見守り、支え合うことのできる地域コミュニティを維持し、更なる活性化を推進します。
6-2　人生100年時代を生きるための健康づくりの推進	「自らの健康は自ら守る」という健康意識を更に高め、ライフステージに応じた市民の健康づくりの実践・継続を促すことで、健康寿命の延伸につなげます。
6-3　生涯にわたる学びやスポーツの推進	生涯にわたって学びやスポーツを楽しめる環境を整え、市民の成長と自己実現につなげ、その成果が地域でいかされるような環境をつくります。
6-4　文化芸術が持つ多様な価値の活用	本市が誇る歴史的文化遺産が適切に保存されるとともに、文化芸術に触れる機会が多く提供され、多くの市民が文化芸術に親しめるまちづくりを進めます。
6-5　市民の安心を確保するための社会保障制度の運営	社会保障制度を適切に運営するとともに、生活困窮者への適切な支援ができる体制を整えます。

（関連するビジョン）ビジョン1　こどもが輝き、若者が希望を抱くまち／ビジョン3　市民生活を守る強くしなやかなまち／ビジョン4　だれもが自分らしくいきいきと生活できるまち

ビジョン6　すべての市民がより良い暮らしを営むまち

地域活動

「くまもとアプリ」を活用した地域活動の活性化　20,000千円

くまもとアプリの利用促進に向けて大型イベントなどでの広報や協賛企業との連携を実施し、ポイント等のインセンティブを付与するとともに、地域活動への参加を「見える化」することで、活動の活性化を図ります。

健康づくり

拡 早期発見のためのがん検診の強化　629,000千円

各種がん検診を実施し、受診率の向上を目指すとともに、特に、大腸がん罹患・死亡者数の減少のため、医学的に効果が高い全大腸内視鏡検査を拡充し、55～59歳の市民を対象に2,000件を無償実施します。

☑全大腸内視鏡検査件数
R7:1,000件➤R8:2,000件(2倍)

新 循環器疾患の予防対策推進　500千円

循環器疾患は、がんと並び本市における主要な死因となっていることから、心疾患及び脳血管疾患について、発症予防の強化と回復期における再発防止に向けた取組を進めるため、外部有識者から意見を聴取する会議体を設置し、脳卒中等を含む循環器疾患の予防対策を推進します。

スポーツ

新 スポーツ施設のあり方検討　19,000千円

熊本市全体のスポーツ施設のあり方や藤崎台県営野球場の移転再整備への対応について調査検討を実施します。

文化振興

拡 夏目漱石周年記念事業における「熊本の漱石」の魅力発信　15,730千円

漱石周年記念における更なる漱石文化の振興に向け、市民や観光客を対象とした広報や、漱石旧居でのAR展示など「熊本の漱石」の魅力を発信します。

新 西南戦争150年に向けた環境整備等の実施　166,582千円

令和9年の西南戦争150年に向けて、田原坂公園内のトイレ及び駐車場改修や七本官軍墓地のき損墓石建替え事業などを実施します。

拡 熊本城の天守閣や工事エリア等の公開　666,000千円

これまで実施してきた熊本城特別公開に加え、熊本地震から10年の節目に合わせて、熊本城の工事エリア等の一部公開を実施するとともに、入園者が快適で安全・安心に利用できる施設運営に取り組みます。

夏目漱石来熊130周年関連

夏目漱石内坪井旧居

西南戦争150年関連

田原坂西南戦争資料館の展示物充実

熊本城の公開

雲上の熊本城

熊本城の復旧工事

宇土櫓続櫓の地震当時の被災状況

文化財

熊本城の計画的復旧　3,600,000千円

主要事業
[文市-6]

飯田丸五階櫓復旧工事や宇土櫓続櫓石垣復旧(修理)工事を実施するほか、最新技術を活用した防火対策設計業務委託を実施します。

ビジョン7　安全で良好な都市基盤が整備されたまち

◆ ビジョン7がめざす姿と取組の方向性

安全で良好な都市基盤の形成に向け、都市機能の維持・確保と適正な土地利用を推進し、人口減少社会に対応した、災害に強いまちづくりを進めるとともに、地域の特性をいかした良好な景観形成に努めます。

また、広域道路ネットワークや都市計画道路、幹線道路の整備を進めるとともに、効率的・効果的な維持管理に努め、良好な道路環境の実現に取り組みます。さらに、上下水道等のインフラの整備や、市有建築物の安全対策、良好な居住環境の形成、空き家対策に取り組みます。

くわえて、バス、市電、自転車などの交通モードと自動車交通の組合せにより、だれもが移動しやすいまちの実現に向けて取り組みます。

◆ ビジョンを実現するための施策

7-1　持続可能で魅力的な都市づくり	バランスとメリハリの利いた土地利用の下、災害に強く、良好な景観が形成された多核連携都市を実現します。また、良好な道路環境の実現と持続可能で利便性の高い公共交通体系の構築により、安全で快適な移動を実現するとともに、市有建築物の安全対策を推進します。
7-2　豊かな住生活の実現	生活様式や世帯構成の変化・多様化に対応しながら、防災・防犯上の心配が少ない、安心して暮らせる豊かな住生活を実現します。
7-3　安全で持続可能な上下水道サービスの提供	上下水道施設の適切な維持管理と計画的な整備を行うとともに、災害に強く、すべての市民が安心して利用できる上下水道サービスを提供します。

（関連するビジョン）ビジョン2　市民に愛され、世界に選ばれる、持続的な発展を実現するまち

ビジョン7　安全で良好な都市基盤が整備されたまち

都市機能

拡 **南熊本地区及び九品寺地区の拠点性強化検討**　42,500千円

南熊本地区及び九品寺地区の更なる拠点性向上に向けた官民連携による再整備の検討を行います。

渋滞対策・公共交通への転換

拡 **持続可能な公共交通のあり方検討**　31,500千円

持続可能な地域公共交通の実現に向け、行政と交通事業者が一体となった新たなマネジメント組織（熊本交通機構）の設立を目指し、必要な検討を行います。

拡 **南熊本駅周辺のあり方検討やバス走行環境改善による渋滞解消**　90,000千円

JR豊肥本線の輸送力強化を見据え、地域拠点である南熊本駅周辺のあり方検討や、バスの遅延等が多い産業道路において、交差点の改良等に必要な設計等を実施します。

拡 **コミュニティ交通の推進による市民の移動手段の確保**　76,700千円

公共交通空白地域等におけるAIデマンドタクシーの運行エリア拡大等を行うとともに、持続可能な公共交通の実現に向けて、公共ライドシェアの社会実験を実施します。

☑AIデマンドタクシーのエリア拡充

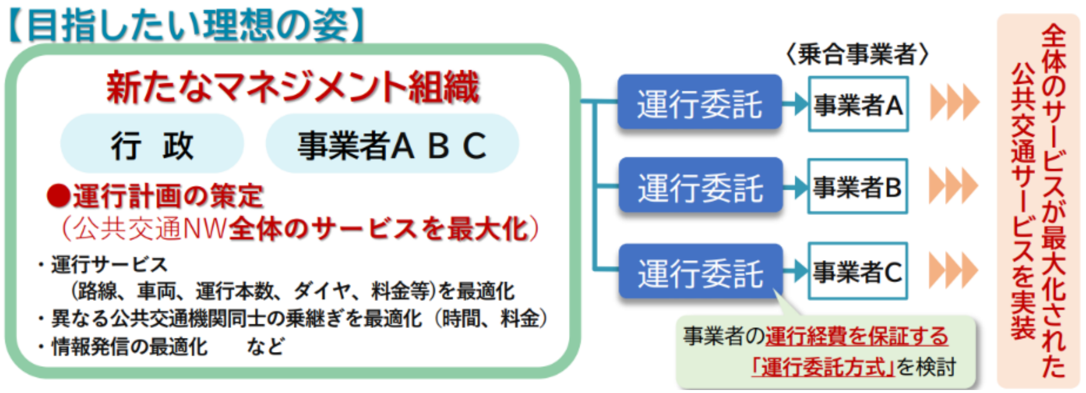
R7:2エリア⇒R8:3エリア

＜産業道路の混雑状況（警察学校前）＞

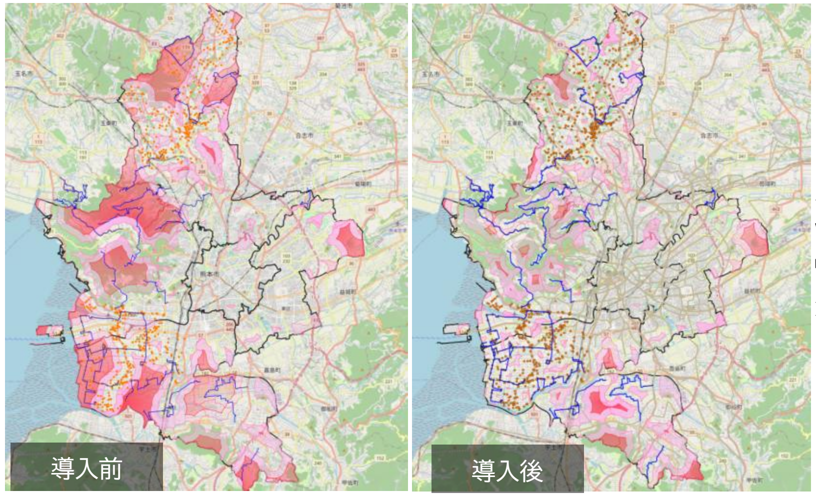
＜将来交通ネットワークイメージ＞

※出典：地理院地図Vector（国土地理院）白地図を加工して作成

持続可能な公共交通のあり方検討



コミュニティ交通による公共交通空白地域等の解消



凡例
- 公共交通空白地域
- 公共交通不便地域
- ＡＩデマンドタクシー停留所
- 乗合タクシー路線

【出典】
◆ バスきたくまさんHPの公開データを利用（https://km.bus-vision.jp/kumamoto/view/searchStop.html）
・産交バス（ttps://www.kyusanko.co.jp/sankobus）
・熊本電鉄バス：https://www.kumamotodentetsu.co.jp/bus
・熊本バス：https://www.kuma-bus.co.jp
・熊本都市バス：https://www.kumamoto-toshibus.co.jp
◆ ©OpenStreetMap contributors
◆ License of 'QGIS' / GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2, June 1991

結節強化

拡 **JR新水前寺駅機能強化及び大甲橋道路空間の再配分**　58,600千円

新水前寺駅前電停等の混雑緩和を目的として駅高架下への暫定バスベイ整備を行うとともに、道路交通の円滑化及び公共交通機関の定時制、速達性を高めるため、大甲橋における道路空間の再配分の検討を行います。

道路整備

熊本西環状道路の整備推進　7,028,000千円（一部R7補正計上）

「池上工区」（池上 熊本駅IC～花園IC）の完成により、市中心部の渋滞緩和が図られており、更なる渋滞緩和等を目指し、「砂原工区」の早期開通に向けた整備を推進します。

市内中心部の車両減少など、効果が発現！

「10分・20分構想」の実現に向けた調査検討　140,000千円

市中心部から高速道路ICや熊本空港までのアクセスを強化する「10分・20分構想」の実現に向けて、住民参加型の道路計画を踏まえた概略ルート案等の検討に取り組みます。

安全対策

新 **市有建築物の安全対策の推進**　340千円

建築保全課が法定点検等を集約実施している207施設について、法定点検等及び小規模修繕を一括して委託することで、不具合の迅速な解消と業務の効率化を図り、市有建築物の安全性確保につなげます。

住環境

拡 **空家等の対策強化**　85,000千円

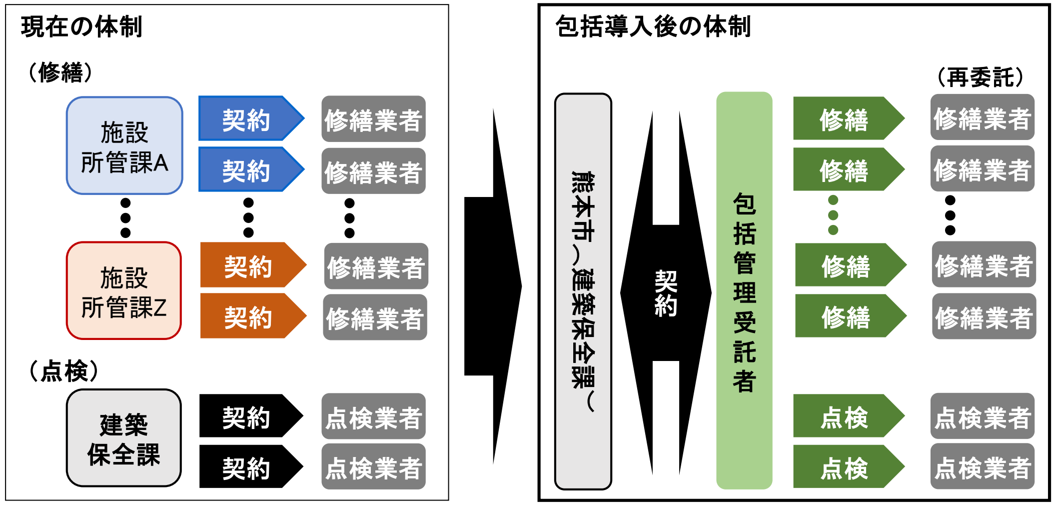
これまでの所有者不在等による空家対策に加え、所有者等がいるものの、度重なる指導等にもかかわらず改善されない空家等について、市が裁判所に財産管理人の選任請求を行い、解決を図ります。

熊本西環状道路など道路整備のイメージ

砂原工区の完成イメージ

10分・20分構想

市有建築物包括管理業務委託



※学校や市営住宅は除く

ビジョン8　市民に信頼される市役所

◆ ビジョン8がめざす姿と取組の方向性

　市民に信頼される市役所の実現に向け、質の高い行政サービスを提供し続けます。
　そのために、限られた行政資源を効果的･効率的に活用することで、行政サービスの質の向上に努めるとともに、将来にわたって持続可能な行財政運営を推進します。
　また、多様化･複雑化する行政課題に対応するため、企画立案能力や課題解決能力の高い職員の育成に努めます。
　さらに、市民の参画と協働を推進し、行政情報を広く発信しながら、市民の意見を政策に反映するとともに、行政情報の適切な管理、公開に取り組みます。
　くわえて、近隣市町村をはじめ、政令指定都市や九州各都市、熊本県等と課題や目指すべき将来像を共有し、広域的な取組を強化します。

◆ ビジョンを実現するための施策

8-1　行政サービスの質の向上と持続可能な行財政運営の推進	限られた行政資源を効果的･効率的に活用するとともに、職員の企画立案能力等を向上させることにより、行政サービスの質の向上に努め、将来にわたって持続可能な行財政運営を行います。
8-2　開かれた市役所の実現	市民が市政について知る機会が充実するとともに、多様な市民が市政に参画し、意見が政策に反映される開かれた市役所を実現します。
8-3　市域を越えた広域的な連携の強化	政令指定都市及び熊本連携中枢都市圏の連携中枢都市としての役割を果たしながら、他の市町村等との連携を更に強化し、広域的な課題を解決します。

ビジョン8　市民に信頼される市役所

市民サービスの向上

ふるさと応援寄附金の受入　1,000,000千円

ふるさと応援寄附金のポータルサイト管理や返礼品の募集･調達･配送等に係る業務委託を実施するなど、寄附金の受入を推進します。

拡 書かない窓口の推進及び生成AIの導入　59,000千円

各種手続が1カ所で受付可能となる書かない窓口を推進するとともに、生成AIの高機能版やRAG※[1]の導入など、生成AIの更なる利活用により業務の効率化及び市民サービスの向上を図ります。

※[1]RAGとは、マニュアルなど独自のデータベースを参照することで、より精度の高い回答が可能となる技術

新 軽自動車税納税確認システムの導入　528千円

軽自動車税の納税確認システムを活用し、市民や事業者がPCやスマートフォンなどで納付状況を直接確認できる環境を整備することで、利便性の向上を図ります。

拡 DXの推進に向けた基盤強化　26,600千円

庁内向けの行政情報サービスの提供や庁内のデジタル人材育成に加え、高齢者等のスマートフォン利用と災害時の情報活用を一体的に支援するため「1対1のスマホ相談会」を実施するなど、DXを推進するための土台づくりに取り組みます。

新 公文書等のデジタル化推進　120,000千円

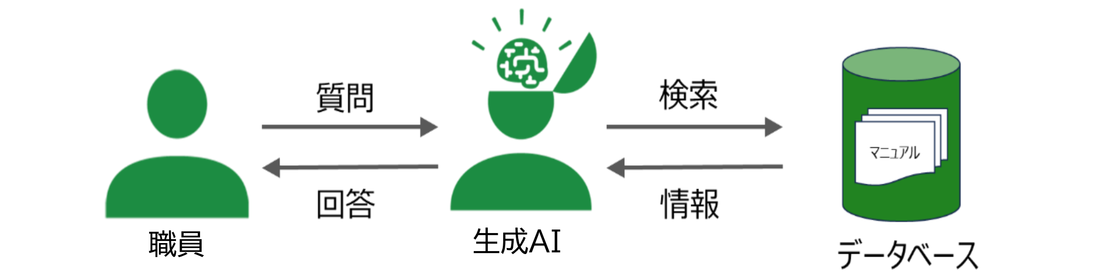
原資料の劣化防止のため、保存を進める「資料保存」の観点と、市民等のシステム利用者がスマートフォン等で資料を閲覧可能とする「資料活用」の観点から、優先度の高い資料を中心にデジタル化を推進します。

業務改革

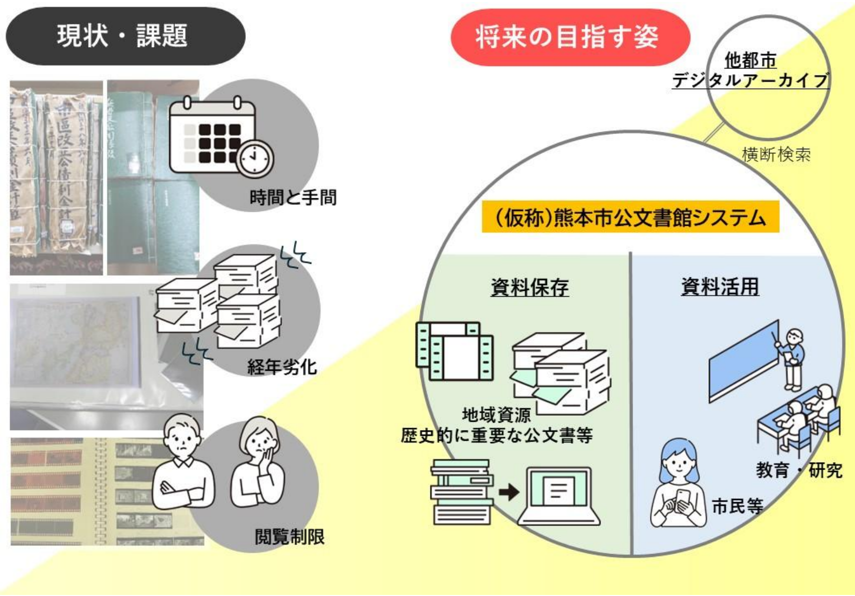
新 EBPM推進センターにおける政策形成の推進　22,237千円

地理空間情報の可視化･分析に要するGISソフトやデータ、国内外の情報を翻訳･要約するAIソフトの導入等により、データ利活用の高度化を図るなど、科学的根拠に基づく政策形成の取組を推進します。

生成AIを活用した業務効率化イメージ



公文書のデジタル化



スマホ相談会

確認システム※2

※2軽自動車税納税確認システム

区における自主自立のまちづくり

- めざすまちづくり
  - 少子・高齢化や人口減少が進行する中、持続的な地域社会を維持するためには、あらゆる住民がつながり、お互いが助け合い、支え合う住民主体の地域コミュニティがより重要となります。そこで、地域と一緒になって課題の解決に取り組むなど、住民自らの創意工夫による自主自立のまちづくりを支援します。

- まちづくり支援の方針

地域の魅力をいかした特色あるまちづくりの推進	つながり、支え合える環境づくりと多様な主体の連携の促進
地域活動に参加しやすく、生きがいが持てる仕組み作りの推進	デジタル技術の活用による地域の課題解決・魅力向上

新たな出会いと未来創造の都会（まち）～つながる、中央区。～

- 本市内のマンションの3分の2近くが中央区に存在し、マンション居住世帯数の割合が極めて高いことや、在住外国人が他区に比べ比較的多いことなど、地域に暮らす人々の価値観やライフスタイルが多様化していることを踏まえると、複雑化した地域課題に対応した新たな地域コミュニティの構築が求められています。

自然豊かな 笑顔あふれる未来のまち 東区

- 高齢化等の影響による地域団体の担い手不足や地域活動への参加者減少など様々な課題解決に向けて、地域貢献に積極的な事業者等が多いことなどをいかし、区役所と住民、事業者などが協働してまちづくりを進めていきます。

金峰望む 華のあるまち西区

- 地理的特徴や都市構造の違いから、「金峰山系」「有明海沿岸」「上熊本周辺」「熊本駅周辺」「西部」の5つのエリア毎に課題を整理し、地域の実情に応じたまちづくりに取り組むことで、それぞれの地域力を高めていきます。

～みんなでつなぎ、みがき、ひろげる～ いきいき暮らしのまち 南区

- 区域内における人口増加地域と減少地域の二極化、慢性的な交通渋滞や利便性の低い地域公共交通、町内自治会・農漁業・文化活動などあらゆる分野の担い手育成などの地域課題解決に取り組み、地域の特性に応じた魅力あるまちづくりを目指します。

ず～っと住みたい “わがまち北区”
～歴史・自然・文化・人がつながり個性輝くまちをめざします～

- 隣接する菊陽町に、世界最大の半導体企業が進出したことで、今後、人口増加と地域経済の活性化が期待されます。これを好機と捉えて、各地域の良さを引き出すことで区全体の交流や区民と区役所の協働を更に促し、区民満足度の高い魅力あるまちづくりを進めていきます。

区における自主自立のまちづくり

中央区

新 防災対策事業　3,500千円

災害時の自助力や共助力の向上を目的とし、地域の危険箇所等の特性を把握し、避難行動計画等を作成することで、地域の防災対応力の強化を図ります。

地域と企業等を結ぶ応援事業　1,500千円

地域団体と地域貢献に関心のある企業や学校等をマッチングして連携事業を創出することで、多様化する地域課題の解決や地域活性化を図ります。

東区

拡 災害に「そなえる」タスク　2,900千円

各地域で展開される防災活動に対し、防災講座（講師派遣やHUG）等を通じて地域の防災力向上を支援し、熊本地震の記憶を風化させないまちづくりを推進します。

新 たくまスクエア（多世代交流スペース）　250千円

区役所ロビーにある多世代交流スペースにおいて、地域の企業関係者等を講師として迎え、様々なテーマで講話や体験会を開催します。

西区

新 繋がるプロジェクト事業　1,080千円

高齢化や人口減少といった地域課題に対応するため、地域と企業や学校が繋がることで地域課題の解決を図り、更なる地域の活性化を図ります。

新 地域防災力向上支援事業　1,408千円

住民主体で作成する地区防災計画において、地域の特性や課題等の解決を支援し、防災力の向上及び自助・共助体制の強化を図ります。

南区

拡 南区地域包括ケアシステム推進事業　1,210千円

南区地域包括ケアシステム推進方針に基づき、高齢者が住み慣れた地域で、いつまでも元気に、安心して暮らせるまちづくりの推進を図ります。

新 南区de学ぼうさい連携事業　2,611千円

災害の記憶を風化させず、地域の防災力を高めることを目的として、子どもから大人までが楽しみながら防災を学べる体験型イベントを開催します。

北区

新 地域と企業の連携推進事業　1,822千円

地域と企業のマッチングを図り、地域・企業・行政が連携して、地域の担い手確保等の地域課題解決等に取り組みます。

拡 地域日本語教室運営　563千円

北区に居住する外国人住民を対象に、日本語学習の機会を提供することで、日常生活の安定、地域社会とのつながり、多文化共生の推進を図ります。

5区共通

地域担当職員研修の実施　1,000千円

課題分析等のまちづくりコーディネーターとしての資質向上のための研修を実施します。

まちづくり推進経費
各区19.8百万円
共通1百万円
計1億円

※写真は、イメージです。

くまもと ACTION
私たちは上質な生活都市を実現します

熊本市
政策局　総合政策部 政策企画課
TEL:096-328-2035　FAX:096-324-1713
E-mail:seisakukikaku@city.kumamoto.lg.jp